

学校図書館 支援員だより 中学校の部 Vol.39



発行元： 水戸市立中央図書館
水戸市大町3丁目3番20号
学校図書館支援担当
発行日： 令和6年10月15日

博物館に行こう！



博物館とは、歴史や芸術、科学技術、自然などに関する資料を
収集・保管、研究、展示する場所です。

美術館や動物園、水族館、植物園、科学館も博物館のなかまです。
英語ではミュージアム(museum)といいます。

11月3日の文化の日は、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」ことを目的に、
1948年に制定された国民の祝日です。多くの博物館の入場料が無料や割引に
なります。この機会に博物館へ行ってみたいはいかがでしょうか。

ちなみに11月13日の茨城県民の日も無料になる施設があります。
今回は、博物館の歴史について調べていきます。



博物館の歴史



紀元前4世紀後半に古代ギリシャにあった、ムセイオンと呼ばれる教育機関がミュージアムの語源と
いられています。ここには、さまざまな分野の資料が収集・保管され、大きな図書館や動植物園の
ような施設があり、研究者が研究をしていたといわれています。

博物館のより直接的な原型は15世紀ごろヨーロッパに登場した「驚異の部屋」(ブンダーカンマー)
と呼ばれる王侯貴族のコレクションです。

「驚異の部屋」とは、あらゆるモノをひとつの部屋に詰め込んで小宇宙を再現しようとした
ちんれつしつ陳列室のことです。「こんなにめずらしいものを、こんなにたくさん集めることができるのだ」
という持ち主のステータスと権力を表すものでした。

「驚異の部屋」は、私的なコレクションで、これを見ることができたのは、重要な来客に限られていました。
現在の博物館のように、一般の人に「公開」されるようになったきっかけのひとつは、
フランス革命でした。革命後に成立した議会が、ルーブル宮殿を共和国中央芸術博物館として
1793年に国民に公開しました。これがルーブル美術館です。



日本におけるコレクションの起源は、正倉院の御物や寺社への奉納品、武家の能装束や茶道具などとされています。
そして近代的ミュージアムは、明治5(1872)年3月10日、文部省博物館が湯島聖堂の大成殿において最初の
博覧会を開催したとき誕生しました。これが東京国立博物館の始まりです。



現在では、いろいろな種類の博物館があります。さらにウェブで世界中の博物館の展示を見られます。
ですが、ぜひ近くの博物館に出かけてみてください。昔のものや遠い場所のものなど、時空を超えた実物の展示を
見るのは、わくわくする楽しい体験になるはずです。



博物館についての本やサイトを紹介した
パスファインダー(調べもの案内)を
作りました。



参考資料：『ミュージアムを知ろう』 横山 佐紀 著 ペリかん社
『博物館へ行こう』 木下 史青 著 岩波書店

裏面では、水戸市立博物館の人に
インタビューをしています。
タブレット・スマホからはこちら→



博物館の人に聞いてみました

水戸市立博物館は、水戸市立中央図書館^{へいせつ}に併設されています。皆さんも遠足などで、来たことがあるかと思います。それでは博物館の人にいろいろ聞いてみましょう。

Q 1 : 水戸市立博物館について教えてください。



1980年に開館して、今年で45年目です。
郷土資料を中心に収蔵品は約6万点です。
歴史・自然・民俗・美術の部門がある総合博物館です。

Q 2 : 博物館では、ふだんどのような仕事をしていますか。

働いているのは6人で、5人が学芸員^{*}です。
一番大事な仕事は、地域に残る資料の収集とその資料を守ることです。
収集した資料をもとに展示やイベントを企画しています。

*学芸員: 博物館法に定められた、博物館における専門的職員および、その職に就くための国家資格。



Q 3 : 博物館で働くにはどうしたらいいですか。

学芸員の資格が必要です。資格は大学などで取ります。
博物館で働くには、専門分野の勉強もします。

Q 4 : 展示のテーマはどうやって決めていますか。

地域に根差したテーマにしています。
聞いたことがあるけど、あまり知られていないことを
紹介しようと思っています。



Q 5 : 現在の特別展示（常陸山谷右衛門展^{ひたちやまたにまもん}）を選んだ理由と、みどころを教えてください。

常陸山が生誕150周年ということで選びました。
展示は担当の学芸員の個性が出ると思っています。
いろいろ苦労して集めた資料や初公開の資料を
展示していますので、ぜひ見てください。

Q 6 : みなさんへメッセージをお願いします。

総合博物館ならではの部門を超えた展示で、水戸のことをいろいろな
角度から紹介しています。何度も見に来てください。



取材協力:
水戸市立博物館 藤井さん

水戸市立博物館でこの秋開催の特別展
「常陸山谷右衛門—「角聖」の生きた時代—」
(10月19日～11月24日)について、
[広報みと（令和6年9月1日号）](#)に
くわしく記事がありますので、
ご覧ください。



水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20

TEL 029-226-6521

開館時間: 9:30～16:45

休館日: 毎週月曜日

祝日(ただし、祝日が月曜日に重なる場合と
特別展会期中は開館)

